

あなたの住まいは大丈夫？

防犯チェックシート



犯罪者はあなたの住まいをいろんなところから観察しています。「戸じまりをしておけば安心」というのは大きな間違い。あなたの気付かないところから犯罪の魔の手は忍び寄るのです。狙われやすいポイントを知り、適切な防犯対策を行いましょう。次のチェックシートであなたの住まいの防犯性を確かめてみましょう。

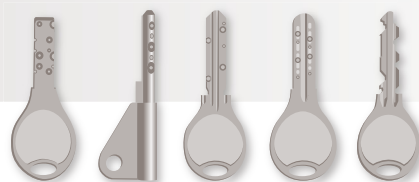
戸建住宅

POINT 1 玄関、勝手口

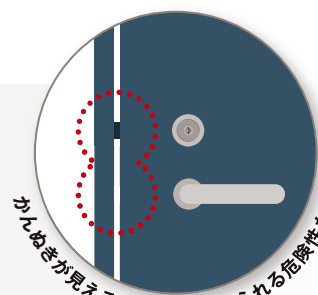
玄関、勝手口では扉や錠を壊されて侵入される可能性があります。そのため、監視性を高めること、壊すことに時間がかかるなど防犯性能の高い部品を使うことが重要です。

Check ✓

- 道路等からの見通しが良い
(見通しの悪い場合には門扉や防犯カメラなどが設置されている)
- ドアとドア枠の間から、かんぬき(デットボルト)が見えない
- 防犯性能の高い錠を使用している
- 1つのドアに2つ以上の錠をつけている



防犯性の高い鍵



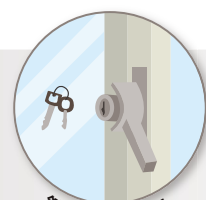
かんぬきが見えるドアはこじ開けられる危険性あり

POINT 2 窓

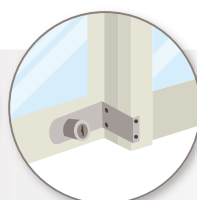
窓などの開口部は侵入口として狙われます。特に周辺からの監視性の低い窓などは防犯性能を高め、侵入できない開口部をつくる必要があります。

Check ✓

- 鍵つきクレセントや補助錠がついている
- 窓ガラスは、防犯ガラスや防犯フィルムを使用している
(防犯ガラスなどを使用していない窓は、面格子や窓シャッターなどを設置している)



鍵つきクレセント



補助錠

POINT 3 バルコニー

バルコニーにのぼり、窓から侵入するケースも多くみられます。また、窓の防犯性を高めると同時に、バルコニーへの侵入防止対策も必要です。

Check ✓

- 周囲の道路等からの見通しが良い
- 塀や物置き、出窓や車庫の屋根など足場になるものがなく、侵入が困難である
- スリットや縦桟など外部から見通しがよい



バルコニーも見通しよく

POINT 4 車庫、自転車・オートバイ置場

車、オートバイ自体の盗難被害や車上荒らしを防ぐと同時に、住宅への侵入経路となる可能性があることも念頭に入れて注意しましょう。

Check ✓

- 道路や居室の窓からの見通しが良い
- 照明設備が設置されている
- バルコニーや窓などへの足場とならない位置、構造である
- 施錠可能な門扉やシャッターがある

POINT 5 庭などの外回り

敷地自体へ侵入しにくいこと、敷地へ入っても住宅への侵入は防ぐなど、道路から住宅までの経路について見直してみましょう。

Check ✓

- 植栽などは、玄関や窓などが死角とならないように適切に配置している
- 植栽や物置の影など犯罪者が隠れることができるような場所はない
- バルコニーや窓などへの足場となるような位置に植栽、物置、塀、雨どいなどが無い



足場となるようなものは置かない

その他の対策

建物の防犯性能の向上も重要ですが、住まい方を注意することで防犯性能を高めることができます。

- 庭を片付けている
- 長期間留守にするときは、新聞などの配達を止めている
- 外出するときは、洗濯物を取り込んでいる
- 外出するときは、合鍵を玄関近くに隠していない
- ホームセキュリティを導入している



犯罪者に留守を伝えないように注意